

令和8年度
当初予算

主要施策の概要



継続

ふるさと納税推進事業

予算額 2億4,262万3千円

企画政策課

民間のポータルサイトを活用し周知と推進を図っている「ふるさと納税」制度について、引き続き促進を図ります。いただいたふるさと応援寄附金は、まちづくりや子育て支援など、様々な事業に活用しております。

受入実績

【令和6年度】11,357件 4億2,544万6千円
 【令和5年度】11,545件 3億8,597万1千円
 【令和4年度】10,020件 3億4,309万1千円



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	2億4,262万3千円

継続

大河ドラマ活用事業

予算額 1億9,196万6千円

企画政策課



本市ゆかりの大河ドラマの放送を契機に、まちのブランドイメージを向上させ、城下町エリアの魅力を発信し、その効果が一過性に終わらないように、観光やまち歩きなどの人流を活発化するようなプロモーションを実施します。

～秀長さんプロジェクトの取り組み～

秀長さんプロジェクト推進協議会を中心に、秀長ゆかりの歴史的観光資源の魅力のブラッシュアップ、大河ドラマの世界をより深く楽しむことができる大河ドラマ館の開催、そしてSNSでの積極的な情報発信などにより市内外に広くPRするとともに、交通課題を考慮し、まち歩きを意識したプロモーションなど、持続可能な観光振興につながる取り組みを実施します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
8,937万6千円	-	1億259万円	-

新規

業務改革事業

予算額 1,865万2千円

(債務負担行為)

企画政策課

社会情勢の変化により業務が多角化し、職員一人あたりの業務量も増大しています。人材確保も困難な状況において、今後も安定した行財政運営を維持するために、業務量・業務負担の軽減が必要です。全庁的な調査により効率化が見込める業務を選定し、抜本的な見直しによる業務プロセス全体の再構築を行います。

～事業計画～

【R8年度】業務量調査、対象業務の選定、現状分析・可視化
 【R9年度】改善施策立案、効果額試算、業務手順作成
 例) アウトソーシング、DX化、業務プロセス見直し

※令和8年度に事業を開始し、令和9年度に予算化します

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	1,865万2千円

継続

自治体情報システム標準化・共通化事業 予算額

5億2,730万円

企画政策課



国の法律「地方公共団体情報システムの標準化」により、市役所の基幹業務システムは国の標準仕様に合ったものへ切り替える必要があります。本市では、戸籍・戸籍附票を除く18業務で必要な手続きを経て新たな事業者を選び、令和8年度にデータ移行と確認作業、職員研修を実施します。準備期間を確保し、令和9年1月から新システム稼働を予定しています。法令遵守に加え、業務継続性とセキュリティ強化、運用の効率化、将来の制度変更への対応力向上を図ります。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
4億8,932万8千円	-	-	3,797万2千円

継続

地域公共交通再編事業 予算額

2,704万円

交通防犯対策課

令和7年10月より開始したデマンドタクシーの実証運行を基に、市内2地区における本格運行を行います。本格運行後も利用状況を追跡し、交通空白地域の解消のため、既存のコミュニティバスも含めた市全体の交通利便性向上を目指します。

計画の流れ

- 【R6年度】地域公共交通の基礎調査・分析、実証運行立案
- 【R7年度】実証運行(デマンド2台)と、地域公共交通計画策定
- 【R8年度】計画に基づくデマンドタクシーの運行開始



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	2,704万円	-

新規

空き家解体補助金事業 予算額

200万円

災害対策課

市内の特定空家等を対象に、除却工事費の2分の1を補助する制度を開始します。現在、特定空家等に認定後、所有者へ継続的に働きかけても自己処分が進まず、倒壊や周辺への影響が懸念される物件が4件あります。主な要因は経済的事情であり、費用支援により早期除却を促進し、所有者による適正管理を推進することで市民の安全・安心と住環境の向上、特定空家等の発生抑制につなげます。

～補助内容～

市内空家等のうち特定空家等に認定された空き家等のみを対象とし、その除却等工事にかかる費用の半額(補助上限額50万円)に対し補助金を交付します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	200万円

拡充

総合防災マップ改定事業

予算額

1,202万5千円

災害対策課



令和3年の水防法改正による変更を反映し、要配慮者施設等の補足を行います。また、全戸配布により最新の情報提供に努め「自助」「共助」といった市民の防災意識の底上げを図ります。

～総合防災マップ～

従前の「防災マップ」、「地震ハザードマップ」、「洪水ハザードマップ」をひとつにまとめたものです。災害のことについて「知る」「考える」「備える」という3つのテーマで構成されており、それぞれを学ぶことで、「自分の命は、自分で守る」という「自助」の意識が高まり、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が取り組む「公助」が活き、防災・減災につながります。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
466万2千円	-	-	736万3千円

新規

税証明書窓口発行業務等委託事業

予算額

2,089万円

税務課

税務課で取り扱う各種業務のうち、窓口での証明発行、口座振替、官公署からの照会回答といった定型的な業務について民間事業者へ委託します。委託事業者のノウハウを活用し業務プロセスの効率化を図ることで市民サービスの向上を図ります。

また、税務課職員は法令や業務の性質により、職員にしかできない分野の業務に専念することができるため、歳入の確保や税負担の公平性をより高めることにつながります。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	2,089万円

拡充

高齢者移動支援事業

予算額

553万円

地域包括ケア推進課



本市では、外出の際に支援を必要とする高齢者を地域の特性や高齢者のニーズに応じて、地域住民が支え合う協働事業として、高齢者移動支援事業を行っています。

令和8年1月1日現在、矢田・筒井の2地区において実施しており、令和8年度からは新たに昭和地区での事業開始に向け、現在準備を行っています。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
207万4千円	-	276万5千円	69万1千円

拡充

福祉タクシー助成事業

予算額

946万3千円

障害福祉課

タクシー運賃の上昇に対応し、福祉タクシー券の助成単価を1枚当たり600円から750円に引き上げるとともに、利用実態を踏まえ枚数を見直し、移動に係る自己負担の軽減を図ることで、より利用しやすいサービスへと拡充します。

対象者…次のいずれかに当てはまる人

- ①身体障害者手帳を持っている人のうち、視覚・下肢・体幹・脳原性移動機能・内部障害のそれぞれの等級が1～3級の人(聴覚障害、上肢機能障害1～3級の人是对象外)
- ②療育手帳Aを持っている人
- ③精神障害者保健福祉手帳1級を持っている人

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	946万3千円

継続

こどもの生活・学習支援事業

予算額

1,691万6千円

子育て支援課



各地域でこども食堂を中心としたこどもの居場所づくりを、NPOや地域の団体等市内一円の18団体に委託しています。食事提供や学習支援、イベントの開催を通じて、支援の必要なこどもを適切な支援につなげるきっかけにするとともに、親子が一緒にくつろぎ、悩みを話し合える居場所づくりや、こどもを中心とした地域活動の場を目指してまいります。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
1,138万2千円	-	-	553万4千円

継続

带状疱疹ワクチン定期接種事業

予算額

4,606万5千円

保健センター

主に65歳を対象とし、带状疱疹ワクチンの定期接種を行います。大和郡山市ではすでに令和7年度より開始しており、経過措置として令和11年度まで、5歳年齢ごと(70,75,80,85,90,95,100歳)を対象に接種を行います。

※対象者や接種場所等の詳細は保健センター「さんて郡山」まで

～带状疱疹とは～

水痘(水ぼうそう)と同じウイルスが原因で起こる皮膚疾患です。症状には個人差があり、水ぶくれが破れてかさぶたのようになりおさまる場合もあれば、症状がおさまった後も皮膚の痛みや神経痛が残る場合もあります。70歳代で発症する方が最も多くなっており、予防するためには体調管理・予防接種が大切です。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	4,606万5千円

新規

RSワクチン定期接種事業

予算額

1,261万3千円

保健センター



妊娠28週から37週に至る妊婦に対し、RSワクチンの定期接種を行います。

妊婦が接種することで胎児に抗体が移り、新生児や乳児がRSウイルスに感染した際に、肺炎などで重症化するリスクを防ぐ効果が期待できます。

～RSウイルス～

年齢を問わず繰り返し感染しますが、特に初めて感染した時に重症化しやすいといわれています。症状としては軽い風邪のような症状から、重い肺炎まで様々です。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	1,261万3千円

新規

電子版母子健康手帳導入事業

予算額

77万円

保健センター



従来の母子健康手帳に電子版(アプリ)を導入します。子どもの成長記録の自動グラフ化、健康診査や予防接種のスケジュール管理や、予定日が通知されるなど管理が簡単になります。

また、令和9年度を目途に行われるマイナンバー連携が進めば、入力の省略など操作の簡略化も期待されます。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	77万円

新規

妊婦歯科健診事業

予算額

99万円

保健センター

妊娠届を提出した妊婦を対象に、歯周病や虫歯を予防するために歯科健診を実施します(市内歯科医院での個別健診を予定)。

～妊婦歯科健診について～

妊娠中はホルモン変化やつわり、食事回数の増加で、むし歯・歯周病になりやすい時期です。歯周病は早産・低体重児出産との関連も指摘されています。妊婦歯科健診でお口の状態を確認し、ケア方法を知って安心して出産を迎えるための準備に寄与するものです。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	99万円

拡充

こども誰でも通園制度事業

予算額

459万2千円

保育支援課

令和8年度より、保護者の就労要件等を問わず、月一定時間の保育が利用できる「こども誰でも通園制度」を公立園1園においても整備し（私立園は令和7年度より先行実施済）、受け入れ体制を整えます。

対象児童

- ・6か月から満3歳未満(3歳の誕生日の前々日)のお子さん
- ・保育所等(注)に通っていないお子さん

(注)保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、事業所内保育事業所、企業主導型保育事業所等



国・県支出金	市債	その他	一般財源
361万2千円	-	57万6千円	40万4千円

継続

震災対策農業水利施設整備事業

予算額

2,260万円

農業水産課

災害でため池等が被災し、人命が失われるなどの大きな被害が発生しないよう、これまで被災の影響の大きい農業水利施設を点検調査してきました。前年度に続き防災重点農業用ため池の地震、豪雨に対する性能や劣化状況等を診断することで対策の必要なため池を早期に把握することに努めます。

調査内容

- ・耐震調査 1か所
- ・劣化調査 1か所
- ・豪雨調査 2か所

国・県支出金	市債	その他	一般財源
2,260万円	-	-	-

継続

多面的機能支払交付金事業

予算額

5,163万6千円

農業水産課

地域共同で行う、農業の有する多面的機能を支える活動や、地域資源の質的向上を図る下記活動を支援します。

①農地維持支払

農業者等で構成される活動組織で行う、水路の泥上げや農道の草刈等の地域資源の基礎的保全活動等を支援します。

②資源向上支払

地域住民を含む活動組織が行う景観形成等の農村環境保全活動や、水路、農道、ため池の軽微な補修、長寿命化のための活動を支援します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
3,872万6千円	-	-	1,291万円

継続

商店街等魅力づくり支援事業 予算額

250万円

地域振興課

商店街等が自主的に行う、持続的な賑わい創出や集客につながる取組に対して補助を行います。一定の地域内の店舗等で組織された商業関係団体を補助対象とし、事業種類別に区分を設け、魅力を発信する多様な取り組みを支援します。

～補助内容～

- ①賑わいづくり事業 補助率1/2 上限50万 イベント補助(※初年度補助率2/3 上限30万)
 - ②魅力発信事業 補助率1/2 上限50万 マップ・商品開発
 - ③施設整備事業 補助率1/2 上限100万 空き店舗改修等
- ※対象者等は担当課まで

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	250万円

継続

事業承継応援給付金事業 予算額

120万円

地域振興課

経営者の高齢化等による事業の承継問題に対し、事業譲渡による地域経済の持続を目的に、商工会、奈良信用金庫、日本政策金融公庫、市で連携する大和郡山市事業承継地域ネットワークが、廃業を検討する事業者と創業希望者のマッチング事業を行っています。この事業の成立を後押しし地域経済の活性化につなげるため、譲渡側と譲受側の双方に給付金を支給します。

～給付内容(※対象者等は担当課まで)～

- 第3者承継 譲渡側 30万円×1回 親族内承継 譲渡側 なし
- 譲受側 10万円×3回(3年での交付) 譲受側 10万円×1回

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	120万円

継続

交通環境改善事業(大河ドラマ関連事業) 予算額

8,250万円

地域振興課



大河ドラマ放送に伴う郡山城周辺の観光客増加に対応するため、令和7年度に引き続き公共交通機関やパーク&バスライドの利用促進を軸に、交通対策を実施します。

国道24号線から郡山城周辺への過度な車両の流入を抑制するため、混雑期には可搬式LED表示板による情報発信を実施し、郡山城周辺では警備員による車両の誘導を行います。これにより、観光客の円滑な受入れと周辺道路環境の保全を両立させます。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
2,942万2千円	-	5,307万8千円	-

継続

清浄会館再整備事業

予算額 10億5,409万1千円

環境政策課



長期稼働により設備、機器等の性能低下をきたしている清浄会館を再整備することにより、安定的な火葬業務を維持します。

今後の工事計画

R8…待合所解体、火葬場建設

R9…火葬場供用開始、待合所建設

R10…待合所供用開始

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	4億円	6億5,409万1千円

継続

特定外来生物等対策事業

予算額

406万7千円

環境政策課

主にサクラ、ウメ、モモの樹木を幼虫が食害する「クビアカツヤカミキリ」による被害が市内で拡大しています。樹木の状態を確認しながら回復の見込みがあるものは駆除を行い、場合によっては伐採することで、更なる拡大を抑え新たな被害木を生じないように対策します。

被害状況

市内各地で被害が発生しており、令和7年度には郡山城跡でも被害が確認されました。

R4:1本 → R5:21本 → R6:159本 → R7:250本超見込



国・県支出金	市債	その他	一般財源
203万3千円	-	101万6千円	101万8千円

新規

ごみ処理施設延命化事業

予算額

279万4千円

(債務負担行為)

クリーンセンター(清掃)



現在のごみ処理施設は、昭和60年の稼働以降、2度の大規模改修工事により、長寿命化を行っていますが、稼働から40年以上経過しているため、新たな処理施設についての検討を行いました。

検討の結果、長期包括責任委託契約のもと、現在の処理施設が十分な施設機能を維持しており、安全かつ安定したごみ処理を実施できていることをふまえて、現処理施設の機能回復工事を順次実施し、令和15年度から5年程度の延命化を図ります。

※令和8年度に事業を開始し、令和9年度に予算化します

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	279万4千円

新規

武道場(柔道場)床修繕事業

予算額

865万1千円

スポーツ推進課



DMG MORIやまと郡山城ホールの武道場は建設から約25年が経過し、柔道場の畳は開館以来一度も取り替えていないため、傷みやへたりが目立つ状態です。安全で快適に利用していただくため、柔道場の畳を全面的に新しいものへ交換します。

利用者の皆さまには修繕期間中ご不便をおかけしますが、より使いやすい施設づくりのためご理解とご協力をお願いします。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	865万1千円

継続

道路維持補修事業

予算額

1億5,000万円

管理課

道路の安全性・快適性・利便性の向上を目的に計画を策定し、舗装や側溝等の老朽化対策を計画的に推進します。令和6年度に行った路面性状調査結果を踏まえ、劣化度を評価して補修・修繕の優先度を選定し、舗装の打ち換え等の補修工事を実施することで、予防保全型の維持管理を行います。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
2,000万円	5,400万円	-	7,600万円

継続

交通安全施設等整備事業

予算額

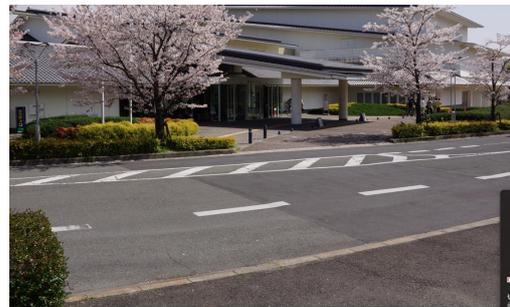
3,800万円

管理課

①バリアフリー基本構想に基づき、JR郡山駅と生活関連施設を結ぶ経路で歩道段差解消など改良工事を実施します。

②通学路は大型車通行等で危険な箇所に、歩道設置・拡幅やガードレール等で歩車分離を図ります。

これらにより安心して移動できる快適な都市空間の整備を図り、同時に安全に通行できる通学路を確保します。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
1,375万円	1,010万円	-	1,415万円

継続

河川整備事業

予算額

1,830万円

管理課

市管理水路の補修・修繕や関連施設の点検等の維持管理、ならびに市内一円の準用河川・普通河川の浚渫や改修を実施します。草刈等の管理業務も含め、円滑な流下を確保し、水害対策など住環境の維持を目指します。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	1,830万円

継続

橋梁維持補修事業

予算額

5,600万円

管理課



定期点検で早期措置段階と判定された橋梁のうち、交通量や損傷程度から優先度の高いものを順次補修します。損傷が軽微な段階で対策する予防保全へ転換し、コスト縮減と耐久年数の延長を図ることで、老朽化による事故を未然に防ぎ、市民の安全・安心を支えます。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
3,080万円	2,260万円	-	260万円

継続

市道伊豆七条高野線道路新設事業

予算額

1億4,351万1千円

建設課



現在整備されている、郡山下ツ道ジャンクションの完成後、当該路線の交通量増加が予想されることにより地元から本路線の整備要望が出されたものです。バイパス線を整備することにより円滑な交通の流れと地域住民の交通安全の確保及び利便性向上を図ります。

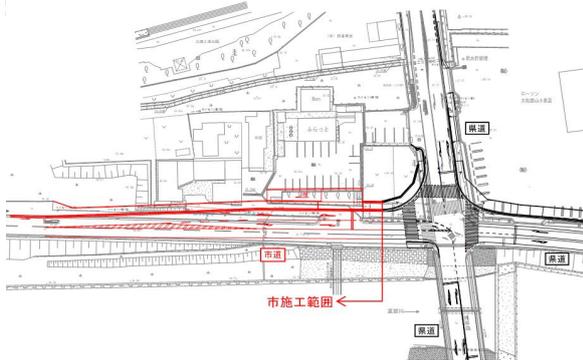
国・県支出金	市債	その他	一般財源
7,000万円	6,300万円	-	1,051万1千円

継続

市道城小泉線道路改良事業 予算額

6,210万7千円

建設課



小泉町にある、富雄橋東側の交差点付近は、市道城小泉線と、奈良県が管理する主要地方道奈良大和郡山斑鳩線が交わっており、奈良県とともに交通渋滞解消のための交差点改良を目指します。

令和9年度の供用開始に向けて、令和8年度は右折レーンの設置及び舗装工事等を行う予定です。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
3,044万3千円	2,730万円	-	436万4千円

新規

蟹川流域治水対策事業 予算額

1,369万8千円

建設課

蟹川は佐保川合流点からJR関西本線までの県管理区間が令和2年度末に整備完了した一方、上流の市管理区間では5年確率降雨に対し河道断面が不足する区間があり、計画降雨量を安全に流す流下能力が不十分です。従来の「ためる対策」だけでは浸水解消が難しいため、「ためる」に加えて河川改修等の「ながす対策」を含め、現況や周辺地形を踏まえた合理的な整備手法を検討し、流下能力の確保を図ります。

～事業計画～

令和8年度は県業務成果を基に現地測量を実施。令和9年度以降は雨水流出・氾濫解析、設計を進め、調整池用地取得や文化財調査後に工事着手し、5年確率降雨の浸水解消を目指します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	1,360万円	-	9万8千円

新規

大和郡山市景観計画策定事業 予算額

1,192万7千円

まちづくり戦略課

景観まちづくりの指針として、平成16年3月策定の景観形成ガイドラインを改定し、景観法に基づく景観計画を策定します。都市計画マスタープランにて目標としている「大和郡山らしい歴史・文化・自然景観を守り、育て、活かす」を実現するため、代表的な眺望景観を保全します。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
596万3千円	-	-	596万4千円

継続

リノベーションまちづくり推進事業 予算額

1,015万3千円

まちづくり戦略課

リノベーションまちづくりは、空き家や空き店舗など既存ストックを再生し、まちの価値とにぎわいを高める手法です。民間の挑戦を行政が支える公民連携で進めることで、新規開発より早い効果や収益性が期待できます。大和郡山市では令和元年度から近鉄郡山駅周辺（城下町エリア）で歴史資源を活用した取り組みを展開、変化が生まれています。



～大和是好日～

外堀緑地において開催される定期マーケットです。実店舗をもたずにチャレンジ出店した出店者を、市内の空き家や空き店舗での開業につなげたり、既存店舗が新たな業態へ挑戦することを促進します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	1,015万3千円

継続

城址会館保存活用事業 予算額

519万4千円

まちづくり戦略課

学科指導教室「ASU」移転後の城址会館について、郡山城跡の整備と一体的に、保存活用を図ります。

令和8年度は検討委員会を設置し、今後の活用方針を検討します。

～城址会館～

大和郡山市城址会館は、奈良公園内にあった旧奈良県立図書館を郡山城跡に移築したもので、奈良県の指定文化財です。

建物のうち1階ホールは休日に一般開放していますので、ぜひご利用ください。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	519万4千円

継続

大和郡山ソリデール事業 予算額

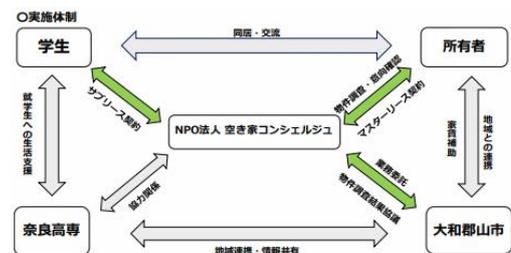
176万2千円

まちづくり戦略課

国立奈良工業高等専門学校（奈良高専）があるまちの取り組みとして、学生と所有者世帯がともに住む（次世代ホームシェア）「大和郡山ソリデール事業」を奈良高専と協力して実施します。

～ソリデール事業とは～

自宅の空き部屋を学生に提供いただき、互いに自立した生活を営みながらも、積極的な世代間交流や助け合い、更には地域社会への貢献を期待するものです。その過程から若者の大和郡山への定住支援を図る取り組みでもあります。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	176万2千円

新規

鉄道駅バリアフリー化設備整備事業 予算額

2,500万円

まちづくり戦略課

高齢者や障害のある方はもちろん、子育て世代など誰もが安全・安心に鉄道を利用できるよう、本市は鉄道駅のバリアフリー化を支援します。鉄道事業者が行う設備整備に対し補助金を交付し、移動のしやすさと安全性の向上を図ります。令和8年度には、近畿日本鉄道株式会社が筒井駅にホームドアを設置する予定です。市民の皆さまの安全と利便性を第一に、より快適な移動環境づくりを進めます。

～現状と課題～

補助要件(利用者3,000人/日以上、又は2,000～3,000人/日で基本構想の生活関連施設に位置付け)に該当する駅は、ファミリー公園前駅を除く6駅あり、エレベーターは整備済です。

今後は国も推進している、転落防止に有効なホームドア等の整備を促進してまいります。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	2,500万円

新規

全国藩校サミット大和郡山大会開催事業 予算額

500万円

まちづくり戦略課

全国藩校サミットは、各地に受け継がれる藩校の伝統や精神を現代の視点で捉え直し、次代に生かすことを目的に開催されてきました。令和8年度は大河ドラマ放送により本市への注目が高まることから、歴史・文化を市内外へ効果的に発信するため、第23回全国藩校サミットが本市で開催されます。



～開催実績～

R5(第20回)東京都文京区

R6(第21回)岩手県盛岡市

R7(第22回)福岡県朝倉市

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	500万円

継続

史跡郡山城跡整備事業

予算額

1,156万6千円

まちづくり戦略課

令和4年に国史跡に指定された郡山城跡は、石垣や堀などの城郭遺構が良好に残存する、大和郡山市を代表する歴史遺産です。貴重な遺構を将来に継承するため、確実な保存と積極的な活用の促進を図り、史跡の魅力を上させることで観光資源としても活かし、住民、観光客どちらにも求心力を高めます。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
735万4千円	-	-	421万2千円

継続

大河ドラマ関連事業

予算額

1,280万4千円

まちづくり戦略課



令和8年の大河ドラマ主人公が豊臣秀長となる好機を捉え、秀長ゆかりの資料をはじめとした、市所蔵資料の展覧会や秀長に関する講演会等を実施します。歴史資源の価値を磨き上げて市内外へ発信し、観光促進による地域活性化と市民のシビックプライド向上、関係人口拡大につなげます。

～主要事業～

- ・展覧会「秀長と郡山のあゆみ」の開催
- ・歴史イベントの開催

国・県支出金	市債	その他	一般財源
553万2千円	-	727万2千円	-

継続

都市公園長寿命化対策事業

予算額

7,678万2千円

まちづくり事業課



老朽化が進む市内各地の都市公園施設について、安全かつ快適にご利用いただくため、長寿命化対策工事を実施します。工事期間中は一部の遊具や通路が使えない場合がありますが、施設を計画的に補修・更新することで、安全性を確保し、施設の長寿命化を図り、将来の更新負担の平準化にもつなげるための大切な工事です。ご理解とご協力をお願いします。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
3,839万円	3,450万円	-	389万2千円

継続

郡山城跡公園整備事業

予算額

2,700万円

まちづくり事業課

郡山高校城内学舎跡地を取得し、郡山城跡を生かした歴史公園の整備を第1期(令和2-6年度)として進めてきました。今後は第2期(令和7-11年度)として、近鉄郡山駅の移設に合わせて公園を広げ、より使いやすくします。

令和8年度には測量・設計を行い、市中心部の大切な歴史・観光資源を整えて、まちのにぎわいにつなげます。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
1,350万円	1,210万円	-	140万円

継続

近鉄郡山駅周辺整備事業

予算額

17億1,618万円

駅周辺まちづくり推進課



近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画に基づき、奈良県及び近畿日本鉄道株式会社と連携協力して近鉄郡山駅舎を北へ移設するとともに、東西の駅前広場やロータリーなどを整備することで、安心して歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

さらに、旧アスモ大和郡山跡地に子育て施設や公共駐車場を併設する商業施設を民間事業者と共同で開発し、本市の玄関口である近鉄郡山駅周辺地区のさらなる利便性向上と賑わい創出を図ります。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
4億9,857万6千円	8億7,210万円	-	3億4,550万4千円

継続

都市計画道路筒井長安寺線事業

予算額

2,463万9千円

まちづくり事業課・駅周辺まちづくり推進課

県道大和郡山広陵線・大和中央道と県道筒井二階堂線をつなぐ(仮称)平端バイパスの実現に向け、都市計画道路・筒井長安寺線の事業化により、近鉄平端駅周辺地区のまちづくりを進めます。まずは、長安寺町交差点で行き止まりになっている筒井長安寺線を駅方面へ延伸し、駅東側において新たな駅前広場やロータリーなどの基盤整備を目指します。



主な予算(令和8年度)

測量設計委託料…1,713万9千円

基本計画推進支援…750万円

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	2,463万9千円

継続

市営住宅関連事業

予算額

2,207万6千円

住宅課

再生マスタープランに基づき、建替移転で空家となった老朽市営住宅を順次解体撤去し、放置による環境悪化や防犯上の懸念を解消します。併せて明和町住宅から霞ヶ丘団地等へ住み替えを促進し、安全確保と跡地活用を図ります。

主な予算(令和8年度)

・市営住宅除却事業…1,520万6千円(工事費)

・市営住宅住替事業…687万円(残存物処分費、空家改修費、工事費、移転費用補償費)

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	2,207万6千円

継続

小学校施設改修事業

予算額

9,099万4千円

教育総務課

郡山南小学校において、既存渡り廊下の改築及び連絡通路の建築並びに廊下の拡幅等により、災害時の避難経路を確保します。工事は2か年で行い、令和8年度で完了予定です。

主な予算(令和8年度)

施工監理委託料…499万4千円

廊下改修工事費…8,600万円



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	6,820万円	-	2,279万4千円

継続

小学校屋内運動場床修繕事業

予算額

1,120万円

教育総務課

児童生徒が安全に体育活動を行えるよう、体育館の床の修繕を計画的に進めます。中学校の体育館は修繕が完了し、令和7年度からは小学校の体育館で床の改修工事を開始しています。傷みや浮き、滑り、ささくれ等を改善し、転倒やけがの予防のための環境整備を推進します。

～事業計画～

・中学校…令和5年度・6年度にてすべて完了。

・小学校…令和7年度時点4校が完了。今後令和8年度にて4校、令和9年度にて3校を予定。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	1,120万円

継続

中学校屋内運動場空調設備整備事業

予算額

2億7,838万円

教育総務課

中学校の屋内運動場に空調設備を整備し、学校教育活動における生徒の熱中症対策を強化するとともに、災害時に避難所となる施設の環境改善を図ります。屋内運動場は空間が広く大容量設備が必要であり、工事費が高額となるため、国補助金の採択条件として断熱性確保に資する工事が求められる点も踏まえ、令和7年度に設計、令和8年度に工事を進めます。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
1億3,919万円	1億3,910万円	-	9万円

新規

幼稚園施設改修事業

予算額

2,494万5千円

教育総務課



片桐幼稚園において、既存の施設を活かし、保護者のニーズに応える「新たな幼稚園モデル」への移行を進めます。小学校に隣接した立地条件を生かし、「育ち」や「学び」の連続性を踏まえた指導内容に取り組み幼小接続を円滑化します。

整備計画

【R8年度】送迎用駐車場の整備

【R9年度】配膳室等の改修

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	1,860万円	-	634万5千円

拡充

部活動地域移行事業

予算額

1,444万7千円

学校教育課

生徒数の減少により、これまでと同じように学校の部活動を行うことが困難になってきたことや、教員の部活動指導の負担増大を背景として、休日の地域クラブ活動を実施しています。すでに令和5年度から少しずつ種目を増やしなが体制を確立してきており、令和8年度からは、休日に学校部活動を行っていたすべての種目を実施します。参加生徒に受益者負担を求めることで、持続可能な運営を行います。

～地域クラブ活動とは～

生徒は校区に関係なく参加でき、地域の指導者や教員（希望者）による専門的な指導を受けられる機会が増えます。

指導員は当市が作成している人材バンクから任用します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
546万円	-	576万円	322万7千円

継続

多様な学び支援事業

予算額

950万4千円

学校教育課

不登校児童・生徒のうち、学校に行けるが教室に入るのに抵抗がある子どもを対象に、校内教育支援センターを設置し、子どもの居場所づくりを第一に考えながら学習をサポートします。それに加え、その子どもたちへの心情面にも寄り添うなど伴走型の支援も行うことで、多様な学びを支援します。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
67万2千円	-	-	883万2千円

継続 DMG MORIやまと郡山城ホール設備補修事業 予算額 4,574万7千円

生涯学習課

これからもDMG MORIやまと郡山城ホールを市民の皆さまに快適にご利用いただけるように設備の補修事業を順次行っていきます。

～DMG MORIやまと郡山城ホール～

大小のホールや会議室、武道場、図書館など、様々な用途に応えることができる、郡山城跡や市役所に隣接した総合施設です。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	4,574万7千円

新規 図書館デジタル化推進事業 予算額 9,116万3千円

図書館

図書の貸出業務について、現在は職員がカウンターでバーコードの読込を手作業で行っていますが、本にICタグを貼り付け自動貸出機を導入することで利用者のスムーズな貸出・返却を実現し、利便性の向上と利用者のプライバシー保護を図ります。

また、出入口にゲートを設置し、無断で館外に図書を持ち出すことを防止します。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	8,100万円	-	1,016万3千円

新規 図書館25周年記念事業 予算額 42万3千円

図書館



DMG MORIやまと郡山城ホールにおける市立図書館は令和8年度に開館25周年の節目を迎えます。図書館の魅力や役割を地域に発信し、新たな利用者の獲得に繋げるため、幅広い世代に親しまれている絵本作家の講演会の開催を中心として、フェアや特設コーナーの設置などを通じて多くの人に図書館を訪れてもらう機会を提供します。

国・県支出金	市債	その他	一般財源
-	-	-	42万3千円

新規

小学校給食費無償化事業

予算額 2億1,763万1千円

学校給食事務所

子育て世帯の家計負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりのため、中学校に引き続き小学校給食費の無償化を実施します。

成長期に欠かせない栄養バランスのとれた給食を、すべての児童が等しく受けられるよう支援します。給食を通じた食育も大切にし、健やかな成長と学びを後押しします。



国・県支出金	市債	その他	一般財源
1億8,744万4千円	-	-	3,018万7千円